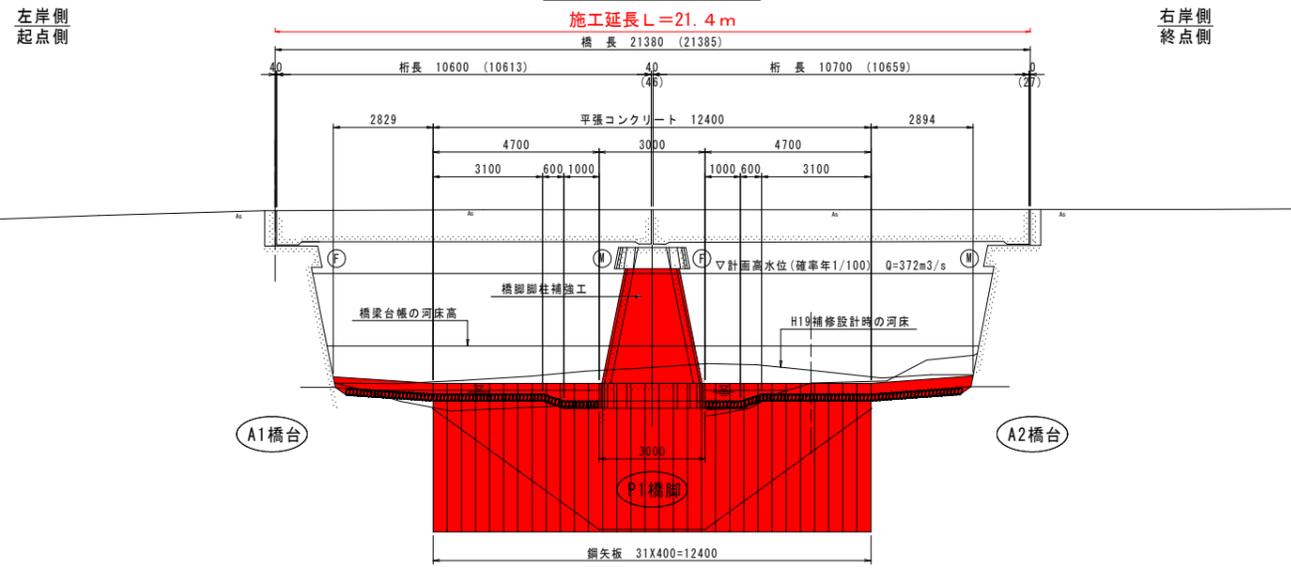
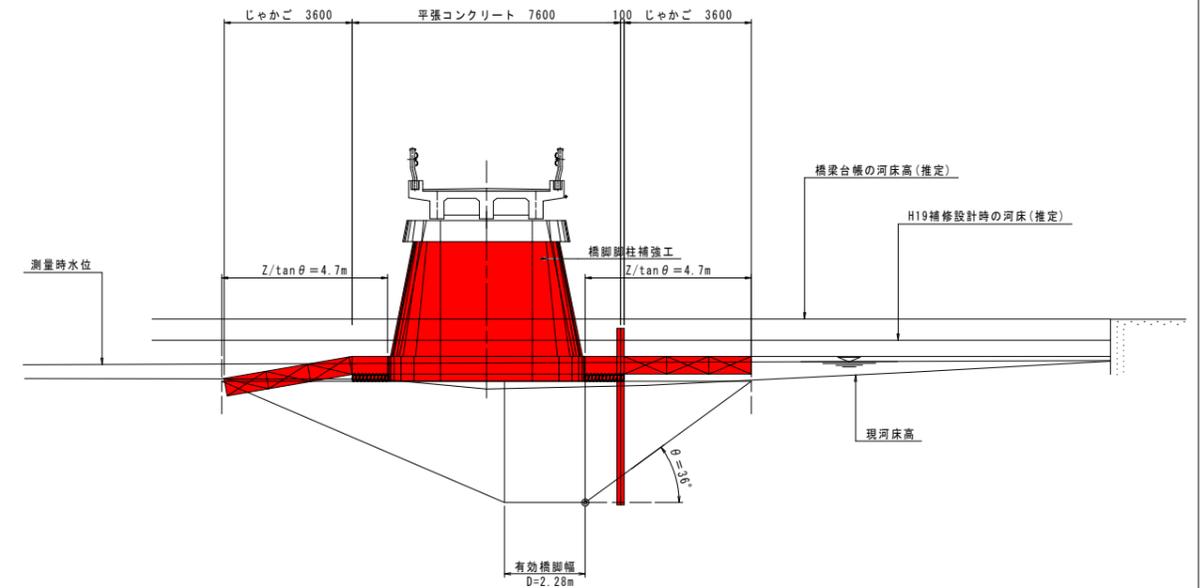


補強・補修対策工一般図

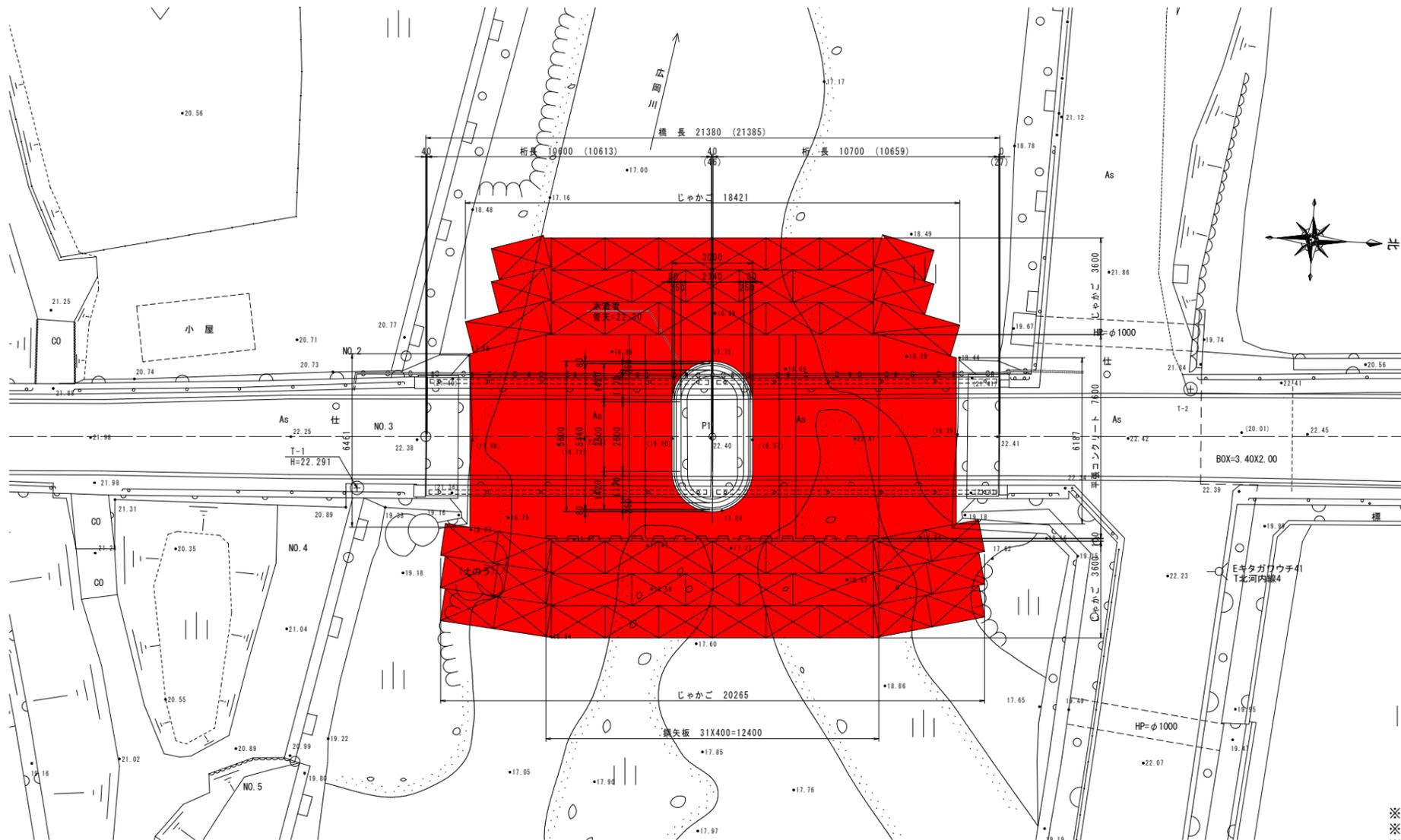
側面図 S=1:100



断面図 S=1:100



平面図 S=1:100



補強工一覧表

項目	補強工	材料等
橋脚	ポリマーセメント巻き立て工法	PP工法(同等工法)

補修工一覧表

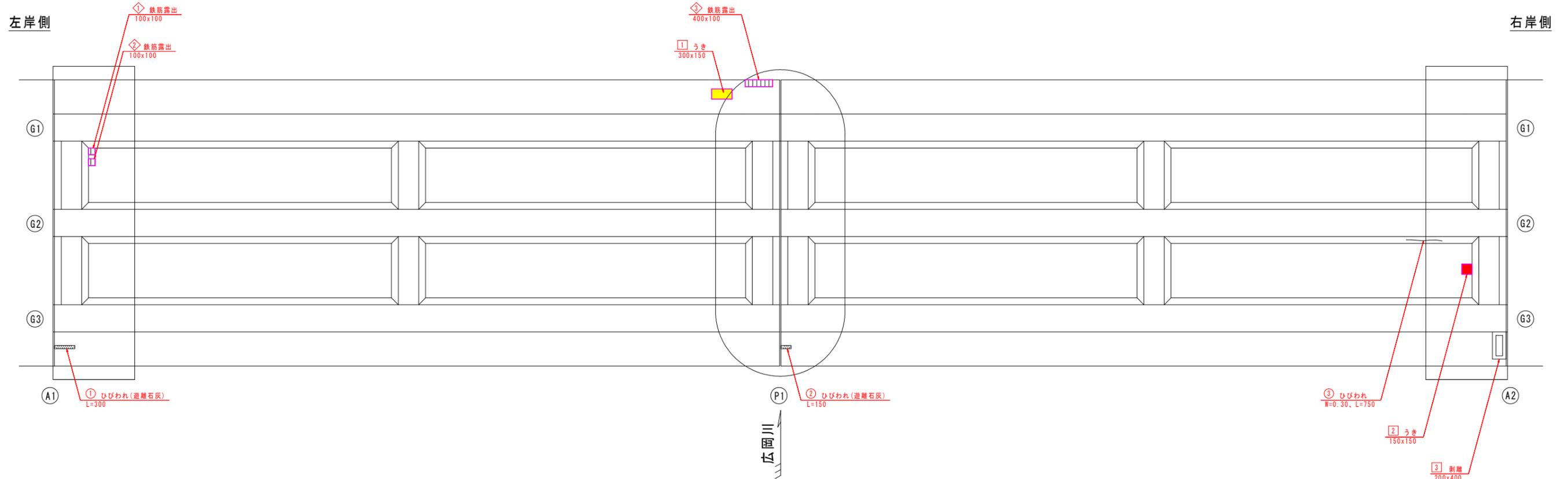
項目	補修工	材料等
上部工 主桁・床版など	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
	ひび割れ充填工	ポリマーセメント系モルタル
	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル
伸縮装置工	地覆部シール材設置	シリコン系
支承工	防食塗装	RC-III塗装系
	隙間充填工	無収縮モルタル、エポキシ樹脂
観柱	基礎部支持コンクリート	σck=18N/mm2
	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル
下部工	洗器対策工(鋼矢板、平張コンクリート)	SP11型、σck=18N/mm2

実施設計図面

工事名	R2波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋梁修繕工事		
路線名等	(一)芥附海部線		
工事箇所	海部郡海部町広岡(上広岡橋)		
図面名	補強・補修対策工一般図		
縮尺	図示	図面番号	1/11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎		

※橋脚形状は、確認調査時の計測作業、およびコア採取結果より推定した。
 ※橋台躯体高さは、確認調査時の計測作業等により推定した。
 ※計画高水位は、本業務において算出したものである。

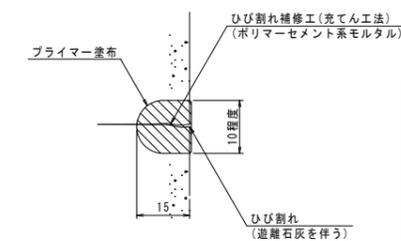
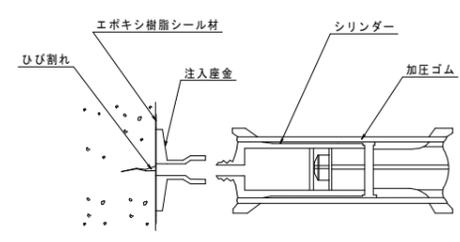
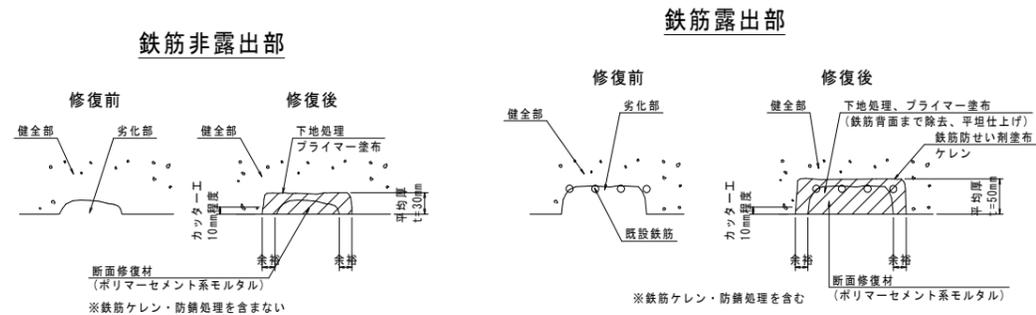
床版補修工詳細図 S=1:30



断面修復工詳細図

ひび割れ注入工詳細図

ひび割れ充てん工詳細図



断面修復工数量表 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L	単位	鉄筋非露出部 数量	備考
床版				
①	300 x 150	m2	0.045	うき
②	150 x 150	m2	0.023	うき
③	200 x 400	m2	0.080	剥離
合計(面積)		m2	0.148	
合計(体積)		m3	0.004	(t=30mm)

断面修復工数量表 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L	単位	鉄筋露出部 数量	備考
床版				
④	100 x 100	m2	0.010	鉄筋露出
⑤	100 x 100	m2	0.010	鉄筋露出
⑥	400 x 100	m2	0.040	鉄筋露出
合計(面積)		m2	0.060	
合計(体積)		m3	0.003	(t=50mm)

ひび割れ注入工数量表

番号	単位	数量	備考
床版			
③	m	0.750	幅 0.30 mm
小計	m	0.750	幅 0.30 mm
合計	m	0.750	

ひび割れ注入工 単位数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
シーリング材	エポキシ樹脂系	kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系 0.2mm以上~1.0mm未満	kg	0.09	幅0.30mm、深さ50mmに仮定
注入器具	30cm間隔	個	33.0	

注1) ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
 注2) ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
 注3) シール材の断面は、幅30mm×厚さ2mmと仮定している。
 注4) シール材の単位重量は $\rho=1,700\text{kg/m}^3$ と仮定している。
 注5) エポキシ樹脂系の単位重量は $\rho=1,200\text{kg/m}^3$ と仮定している。
 注6) シール材、注入剤はロス率を考慮していない数量である。

ひび割れ充てん工数量表

番号	単位	数量	備考
床版			
①	m	0.300	遊離石灰
②	m	0.150	遊離石灰
合計	m	0.450	

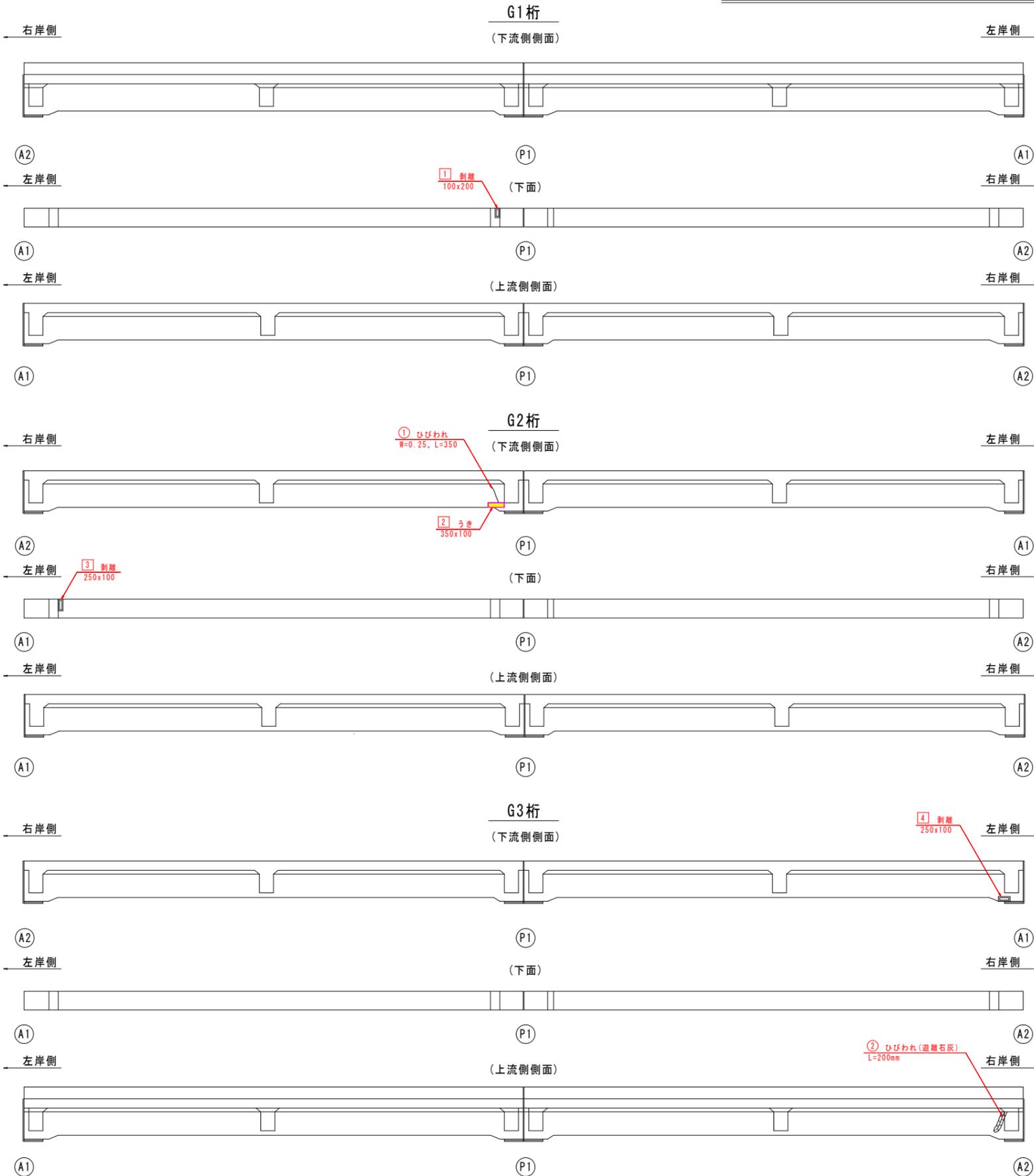
注) 断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離・うき・豆板等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
 ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は、鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
 ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。
 ・鉄筋露出部は、断面修復時の平均厚を50mmとする。

【注記】
 ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

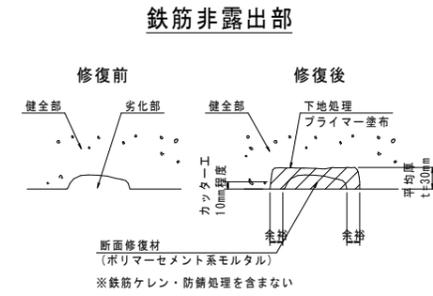
実施設計図面

工事名	R2波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋架設補修工事
路線名等	(一)芥附海部線
工事箇所	海部海部町広岡(上広岡橋)
図面名	床版補修工詳細図
縮尺	図示 図面番号 2/11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎

主桁補修工詳細図 S=1:50



断面修復工詳細図

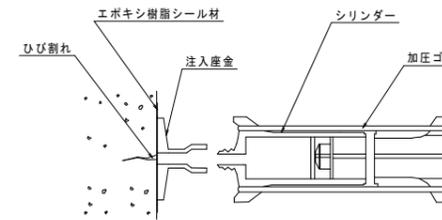


断面修復工数量表

番号	B x L x N	単位	鉄筋非露出部		備考
			数量		
主桁					
1	100 x 200 x 1	m2	0.020		剥離
2	350 x 100 x 1	m2	0.035		うき
3	250 x 100 x 1	m2	0.025		剥離
4	250 x 100 x 1	m2	0.025		剥離
合計 (面積)		m2	0.105		
合計 (体積)		m3	0.003		(t=30mm)

注)
 ・断面修復工の断面寸法は、施工に当たり剥離・うき・豆板部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
 ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は、鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
 ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

ひび割れ注入工詳細図



ひび割れ注入工数量表

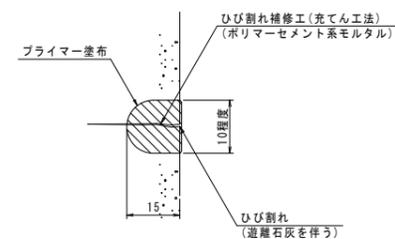
番号	単位	数量		備考
		幅0.2mm以上 ~1.0mm未満		
主桁				
①	m	0.350		幅 0.25 mm
小計	m	0.350		幅 0.25 mm
合計	m	0.350		

ひび割れ注入工 単位数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
シール材	エポキシ樹脂系	kg	1.02	
注入材	エポキシ樹脂系 0.2mm以上~ 1.0mm未満	kg	0.08	幅0.25mm、 深さ50mmに仮定
注入器具	30cm間隔	個	33.0	

注1) ひび割れ注入工の施工範囲は、施工前に詳細計測を実施し決定すること。
 注2) ひび割れ注入工の注入深さは、現地目視点検により50mmと仮定している。
 詳細な注入深さは現地計測により決定すること。
 注3) シール材の断面は、幅30mmx厚さ2mmと仮定している。
 注4) シール材の単位重量はW=1.700kg/m³と仮定している。
 注5) エポキシ樹脂系の単位重量はW=1.200kg/m³と仮定している。
 注6) シール材、注入剤はロス率を考慮していない数量である。

ひび割れ充てん工詳細図



ひび割れ充てん工数量表

番号	単位	数量	備考
主桁			
②	m	0.200	遊離石灰
合計	m	0.200	

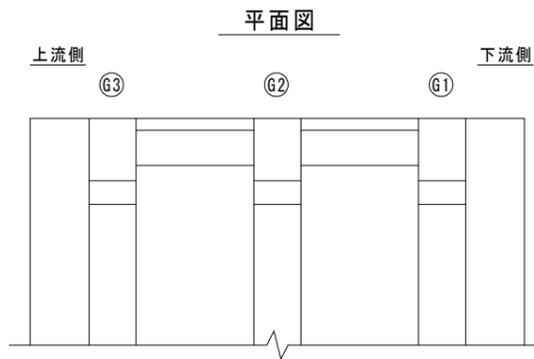
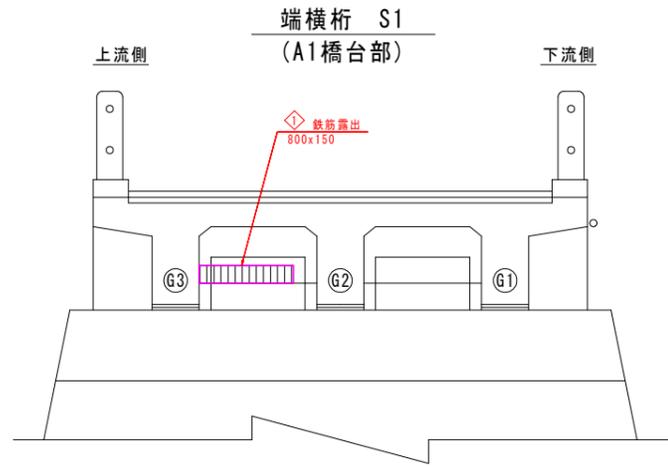
実施設計図面

工事名	R2波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋架設補修工事
路線名等	(一)芥附海部線
工事箇所	海部海陽町広岡(上広岡橋)
図面名	主桁補修工詳細図
縮尺	図示 図面番号 3/11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎

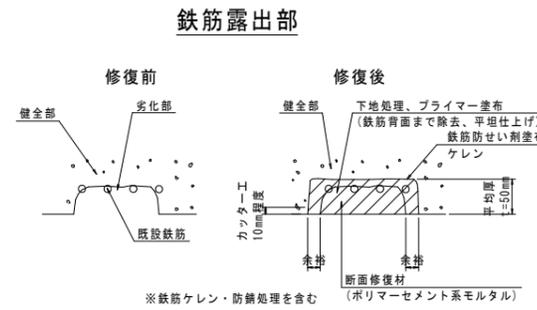
【注記】

・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

横桁補修工詳細図 S=1:50



断面修復工詳細図

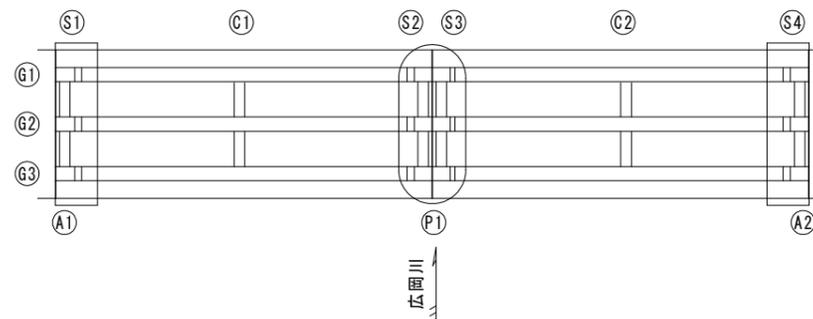


断面修復工数量表 ※鉄筋ケレン・防錆処理を含む

番号	B x L	単位	鉄筋露出部 数量	備考
横桁				
◇	800 x 150	m2	0.120	鉄筋露出
合計 (面積)		m2	0.120	
合計 (体積)		m3	0.006	(t=50mm)

注)
 ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離・うき・豆板部等を取り除いた後、詳細計測を行い決定すること。
 ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は、鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
 ・鉄筋露出部は、断面修復時の平均厚を50mmとする。

マーク図



実施設計図面

工事名	R2波土 芥附海部線 (上広岡橋)	海・広岡
橋梁修繕工事		
路線名等	(一)芥附海部線	
工事箇所	海部海隣町広岡 (上広岡橋)	
図面名	横桁補修工詳細図	
縮尺	図示	図面番号 4/11
会社名		
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎	

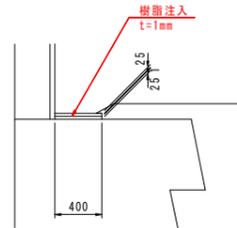
【注記】
 ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

支承補修工詳細図 S=1:50

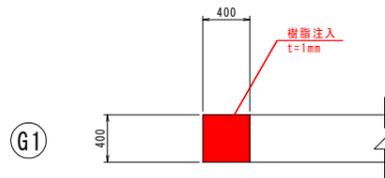
隙間充填
(N=6カ所)

A1橋台：G1桁部

側面図

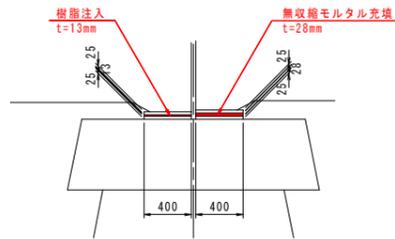


平面図

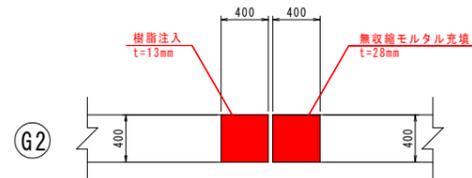


P1橋脚：G2桁部

側面図

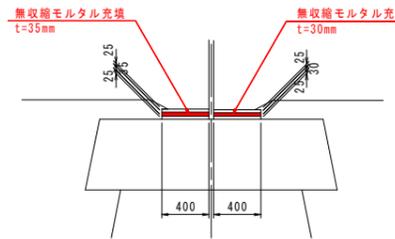


平面図

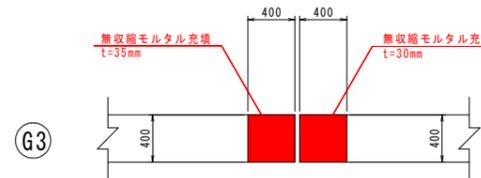


P1橋脚：G3桁部

側面図

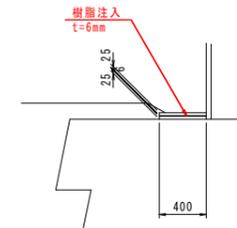


平面図

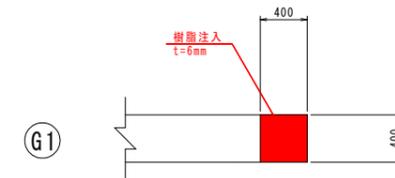


A2橋台：G1桁部

側面図

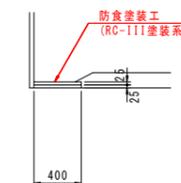


平面図

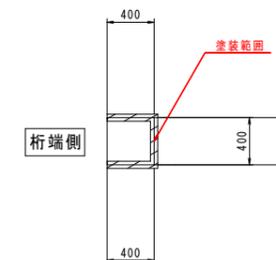


防食塗装工

側面図



平面図



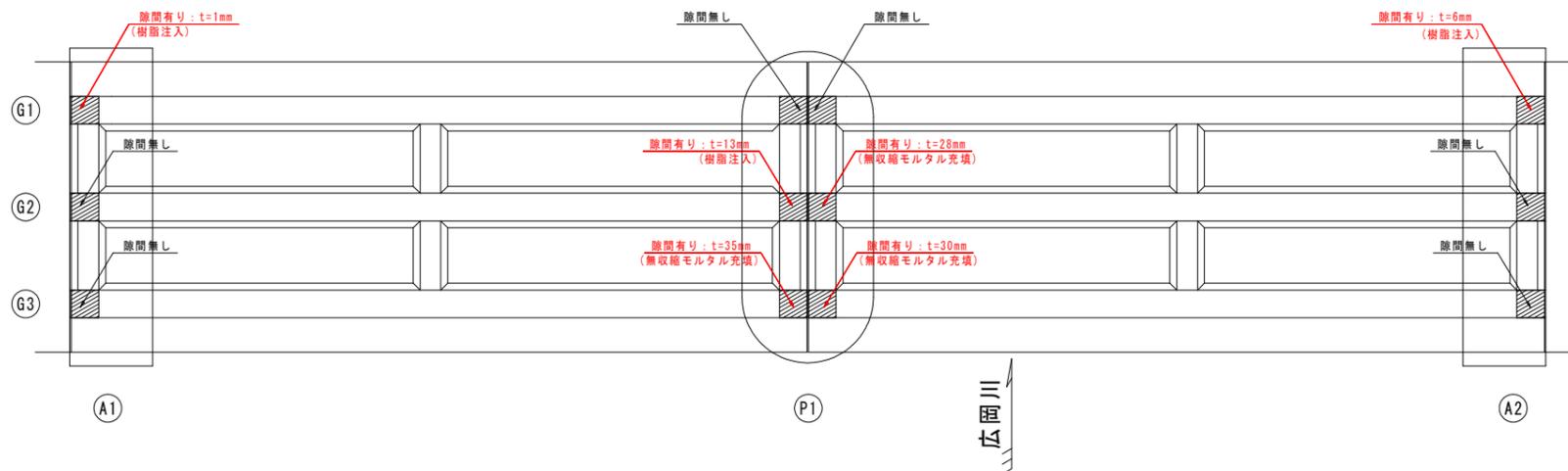
【注記】

- ・ 支承によっては、上・下部工コンクリートで部材表面を確認できない部分があることから、防食塗装を行うためのコンクリート切除範囲については、現地確認後に監督員と協議を行って再度決定すること。(コンクリート切除が構造本体に悪影響を与えないよう注意すること。)
- ・ 隙間充填箇所の上脊下面、および下脊上面については、可能な範囲で錆除去等、清掃を行った後、充填すること。

マーク図 S=1:50

左岸側

右岸側



実施設計図面

工事名	R2波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋架修繕工事		
路線名等	(一)芥附海部線		
工事箇所	海部海隣町広岡(上広岡橋)		
図面名	支承補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	5/11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎		

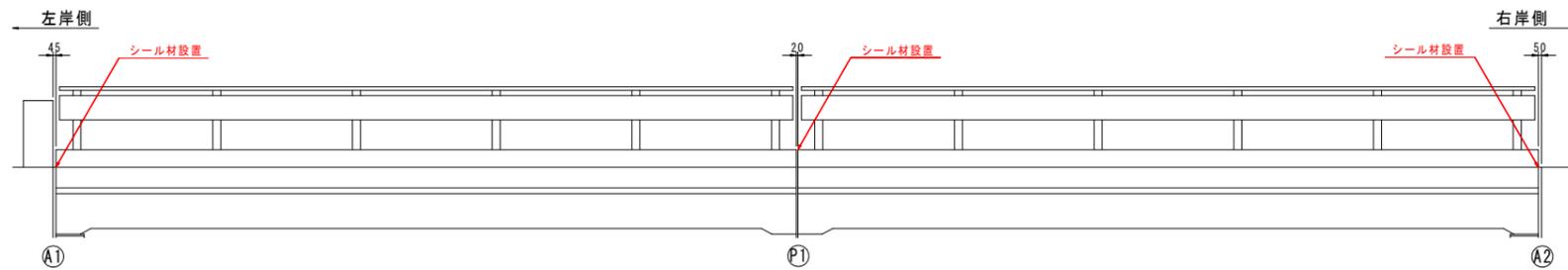
【注記】

- ・ 本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- ・ 施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注に取りかかること。

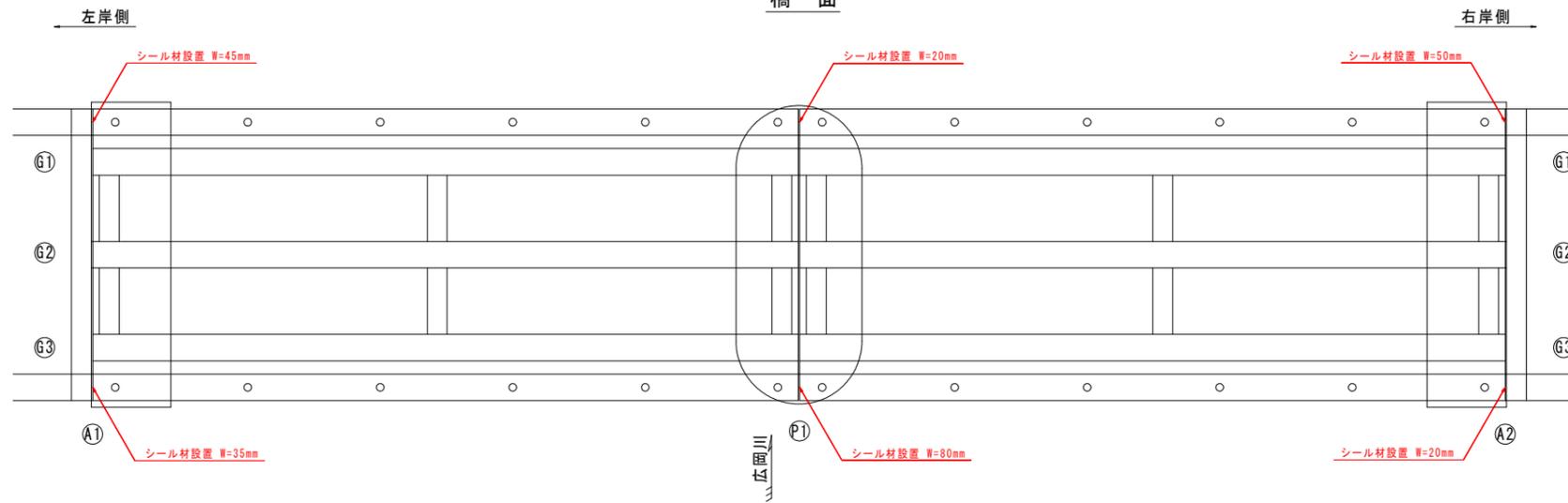
橋面補修工詳細図(1/2) S=1:50

シール材設置図 S=1:20

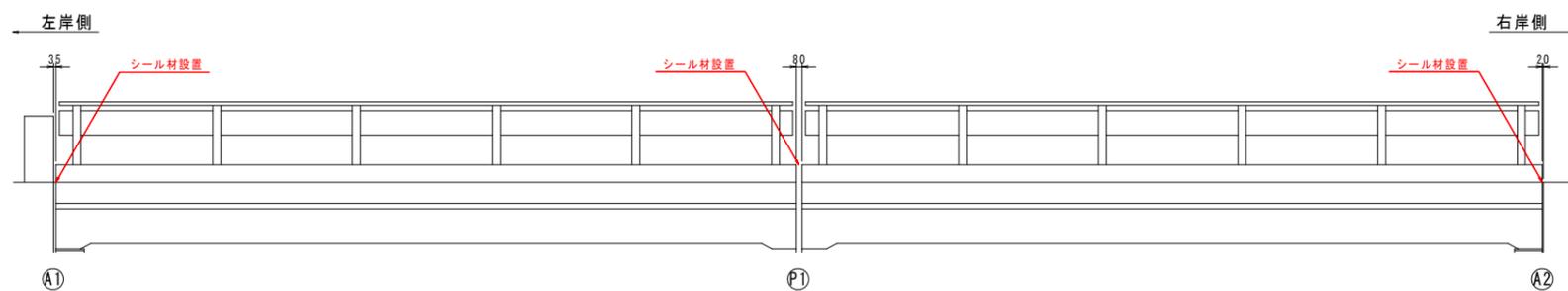
下流側地覆



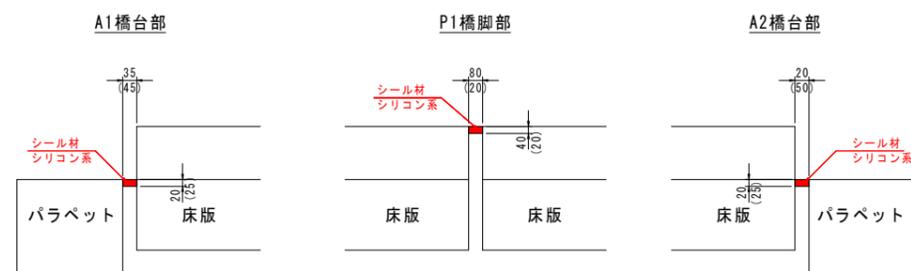
橋面



上流側地覆

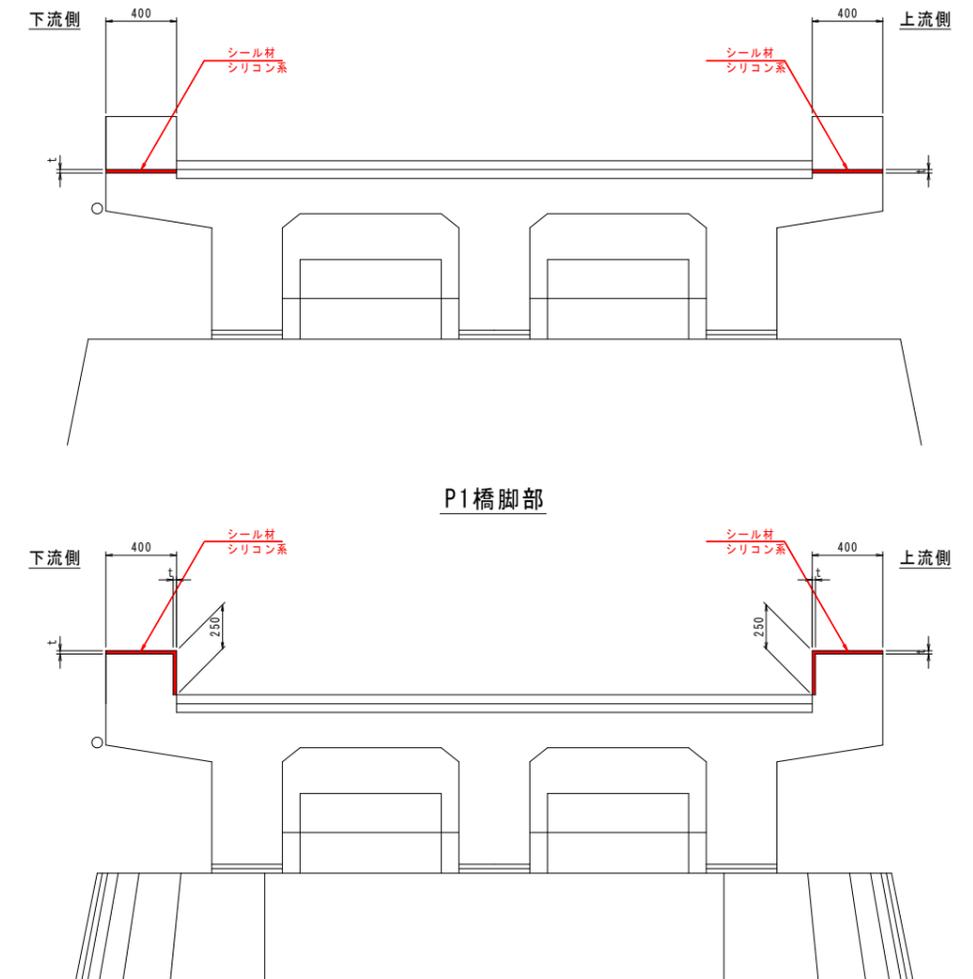


断面図 S=1:10



※ ()は下流側の寸法を示す。

橋台部



【注記】

- ・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
- ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取掛かること。

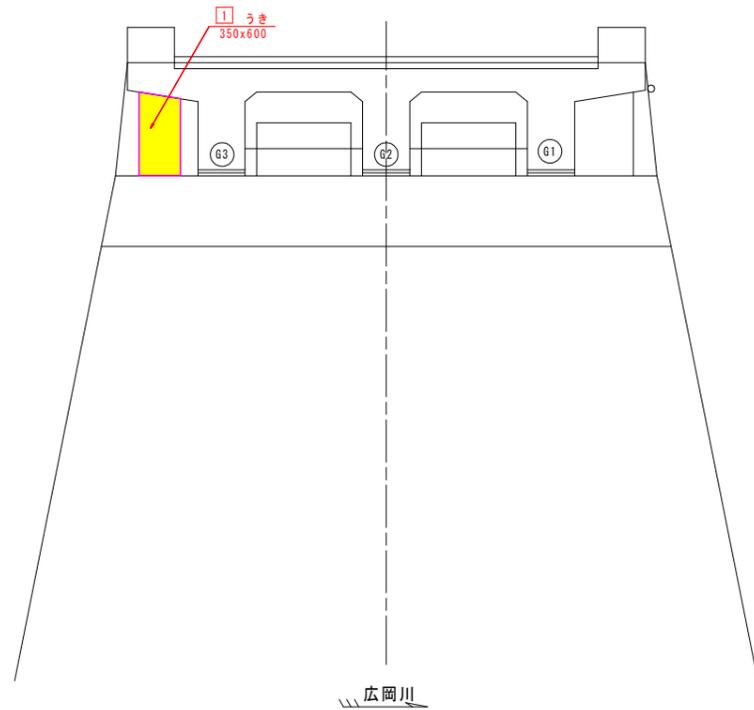
実施設計図面

工事名	R2 波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋架修繕工事
路線名等	(一) 芥附海部線
工事箇所	海部海隣町広岡(上広岡橋)
図面名	橋面補修工詳細図(1/2)
縮尺	図示 図面番号 6/11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎

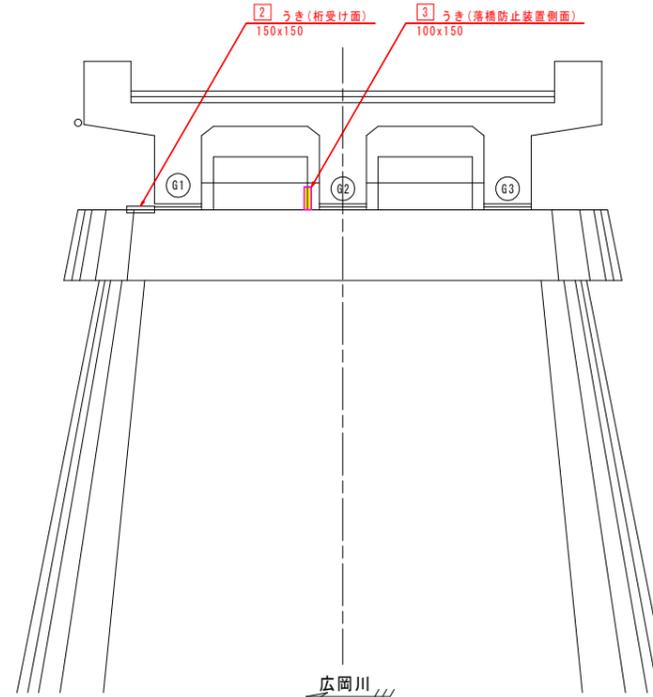
下部工補修工詳細図 S=1:30

A1橋台

正面図

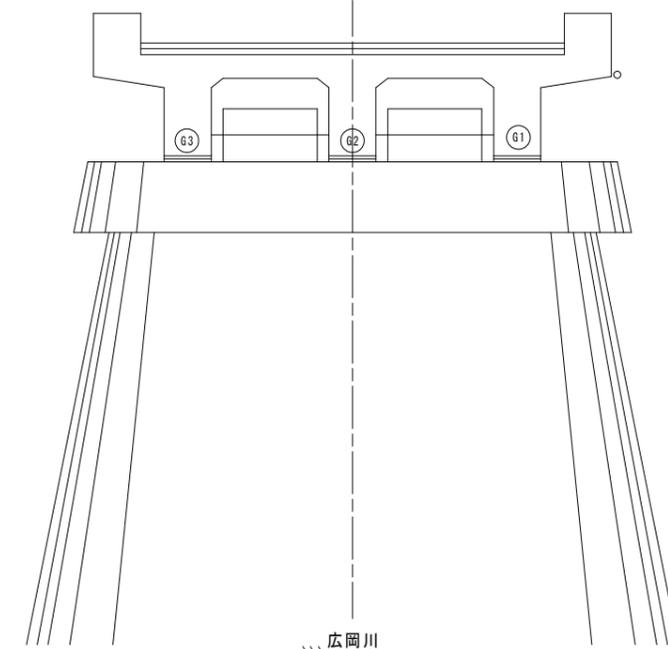


A1橋台側正面図

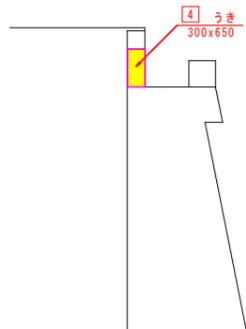


P1橋脚

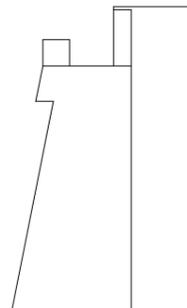
A2橋台側正面図



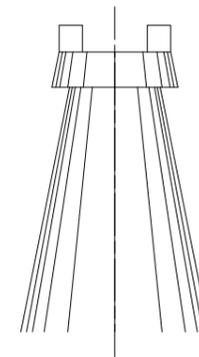
上流側側面図 S=1:60



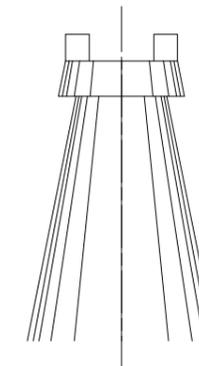
下流側側面図 S=1:60



上流側側面図 S=1:60

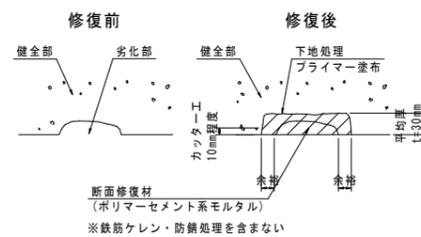


下流側側面図 S=1:60



断面修復工詳細図

鉄筋非露出部



注)
 ・断面修復工の断面寸法は、施工にあたり剥離・うき・豆板部等を取り除いた後詳細計測を行い決定すること。
 ・はつり範囲に鉄筋を確認した場合は鉄筋を露出させて鉄筋露出部の施工方法にて補修すること。
 ・鉄筋非露出部は、断面修復時の平均厚を30mmとする。

断面修復工数量表

※鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

番号	B x L	単位	鉄筋非露出部		備考
			数量		
下部工					
1	350 x 600	m ²	0.210		うき
2	150 x 150	m ²	0.023		うき
3	100 x 150	m ²	0.015		うき
4	300 x 650	m ²	0.195		うき
合計 (面積)		m ²	0.443		
合計 (体積)		m ³	0.013		(t=30mm)

【注記】

・本図面は、確認調査結果を基に作図したものである。
 ・施工実施前に現地測定を行い、形状寸法を確認の上、材料発注・加工等に取りかかること。

実施設計図面

工事名	R2 波土 芥附海部線 (上広岡橋) 海・広岡橋架修繕工事		
路線名等	(一) 芥附海部線		
工事箇所	海部海隣町広岡 (上広岡橋)		
図面名	下部工補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	8/11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎		

橋脚脚柱補強工構造図 S=1:30

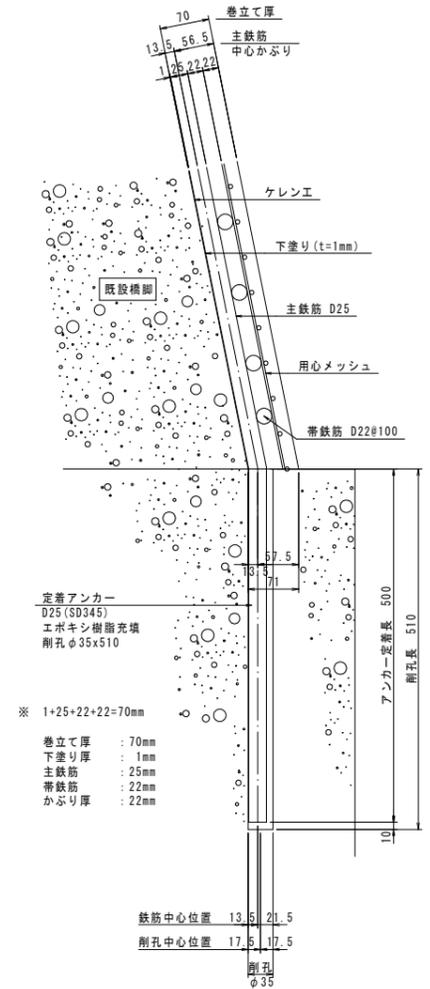
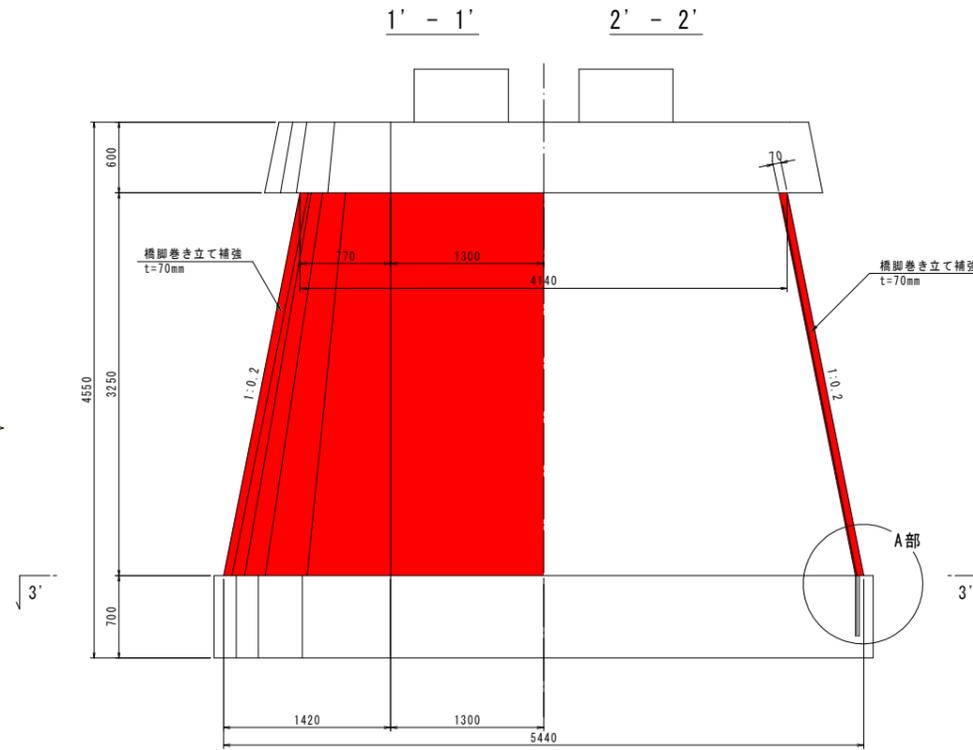
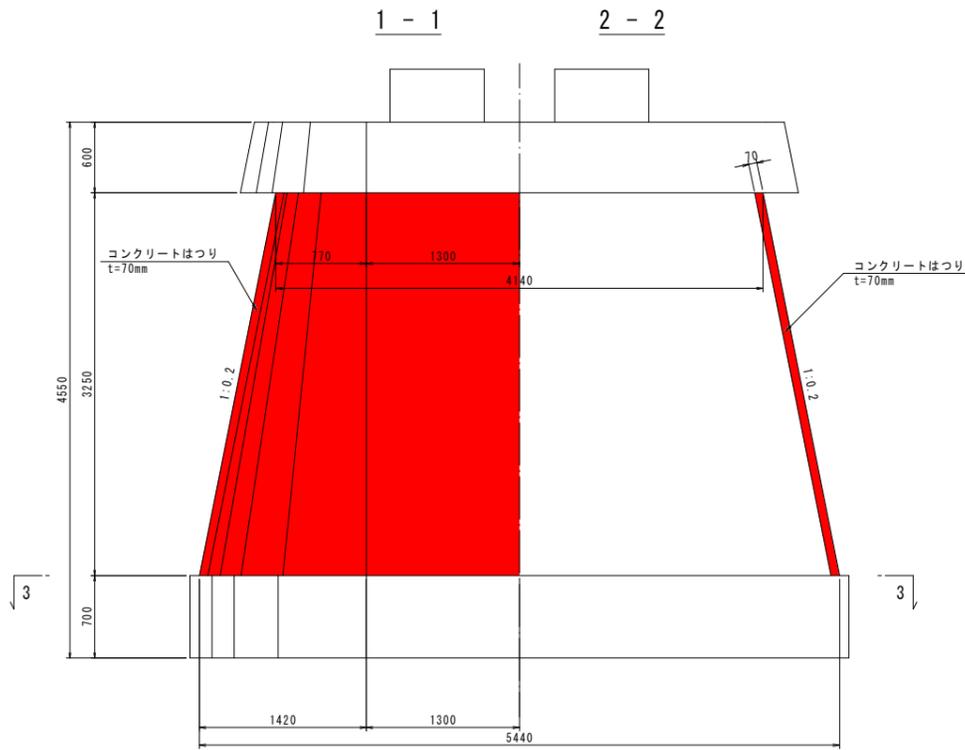
軸方向鉄筋定着部詳細図 S=1:5 (A部：ポリマーセメントモルタル t=70mm)

現況はつり

橋脚巻き立て補強

正面図

正面図

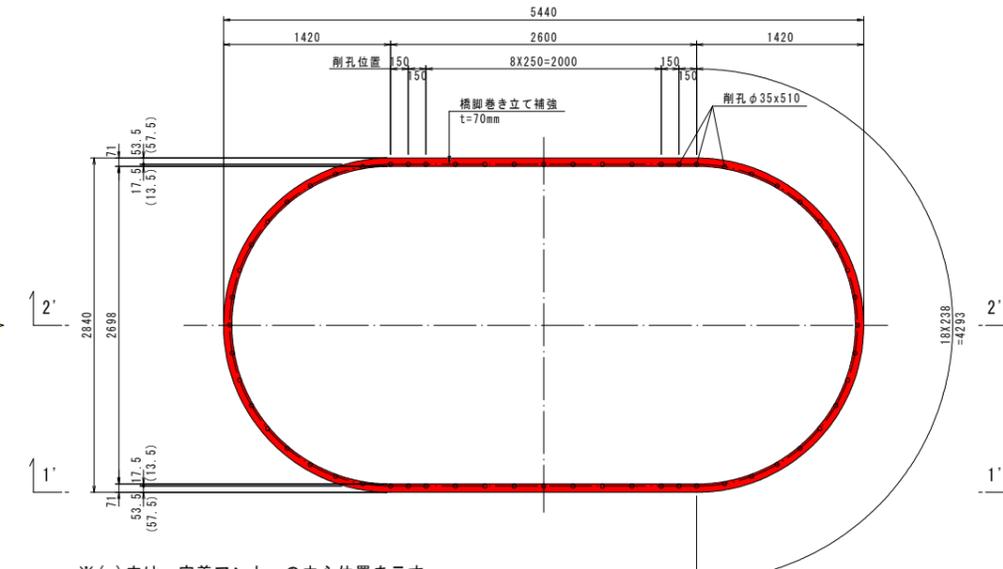
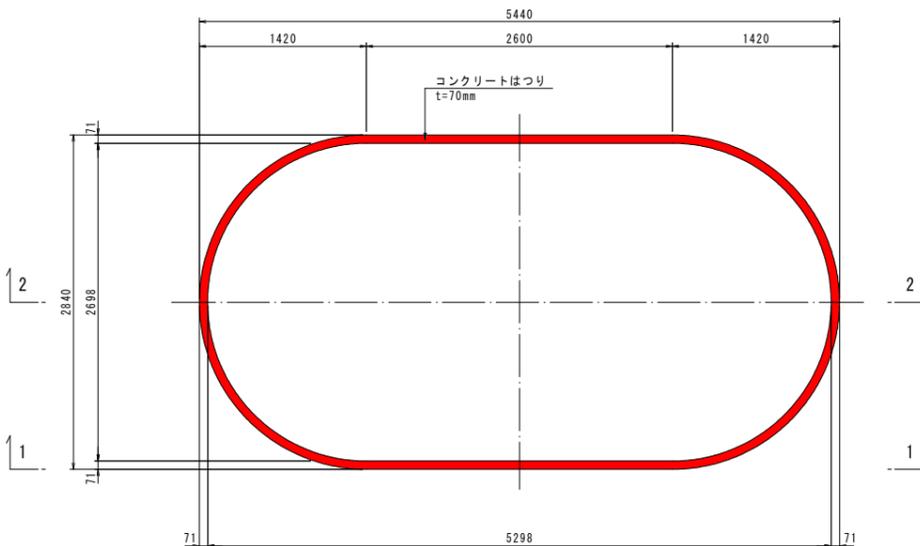


平断面

平断面

3 - 3

3' - 3'
(削孔位置)



※()内は、定着アンカーの中心位置を示す。
※定着アンカーと削孔の中心位置は4mmのずれを生じる。
当図面内の「軸方向鉄筋定着部詳細図」(右上図)を参照のこと。

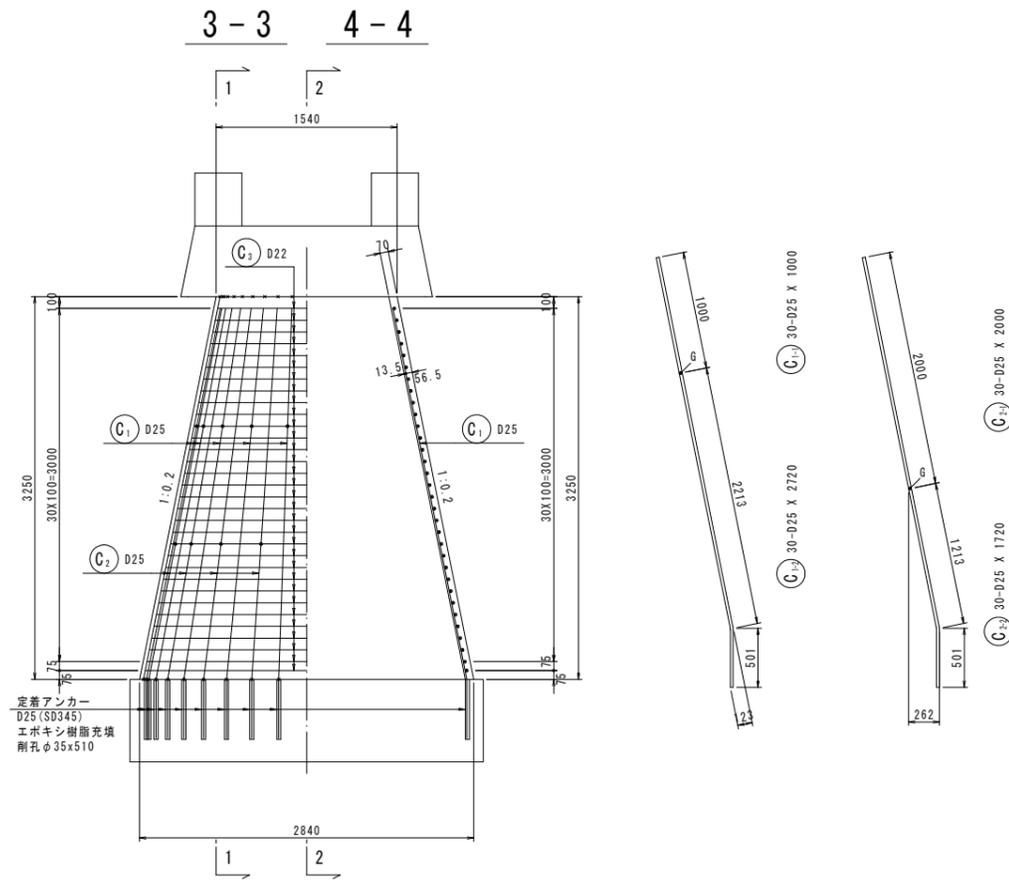
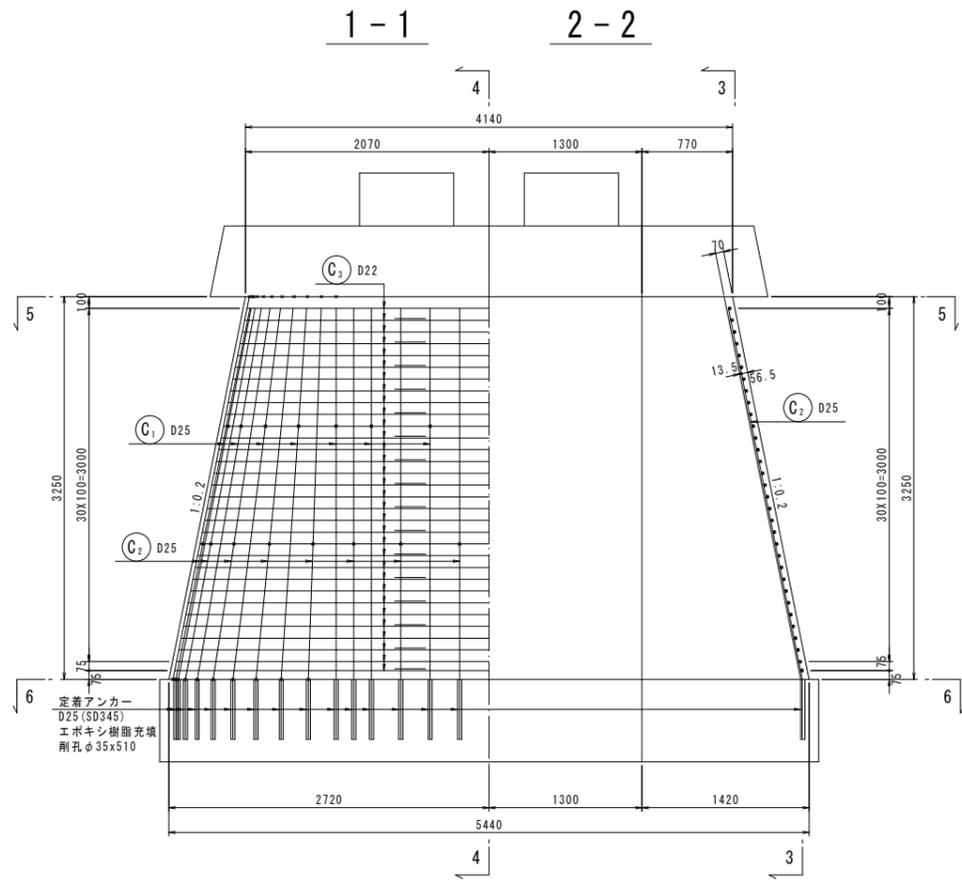
【注記】

- ・既設橋脚のはつりは、本体に損傷を与えないよう慎重に行うこと。
- ・洗掘対策の平張コン施工後に脚柱補強工を実施すること。
- ・配筋作業時の注意事項は「橋脚脚柱補強工配筋図」に示す。

実施設計図面

工事名	R2 波土 芥附海部線 (上広岡橋)	海・広岡
路線名等	(一) 芥附海部線	
工事箇所	海部海陸町広岡 (上広岡橋)	
図面名	橋脚脚柱補強工構造図	
縮尺	図示	図面番号 9/11
会社名		
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎	

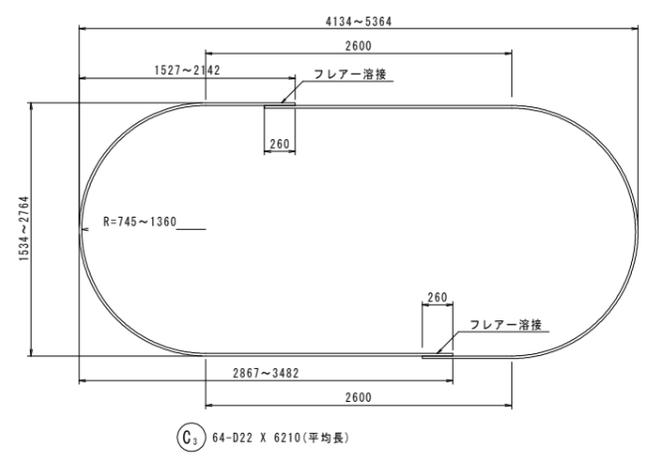
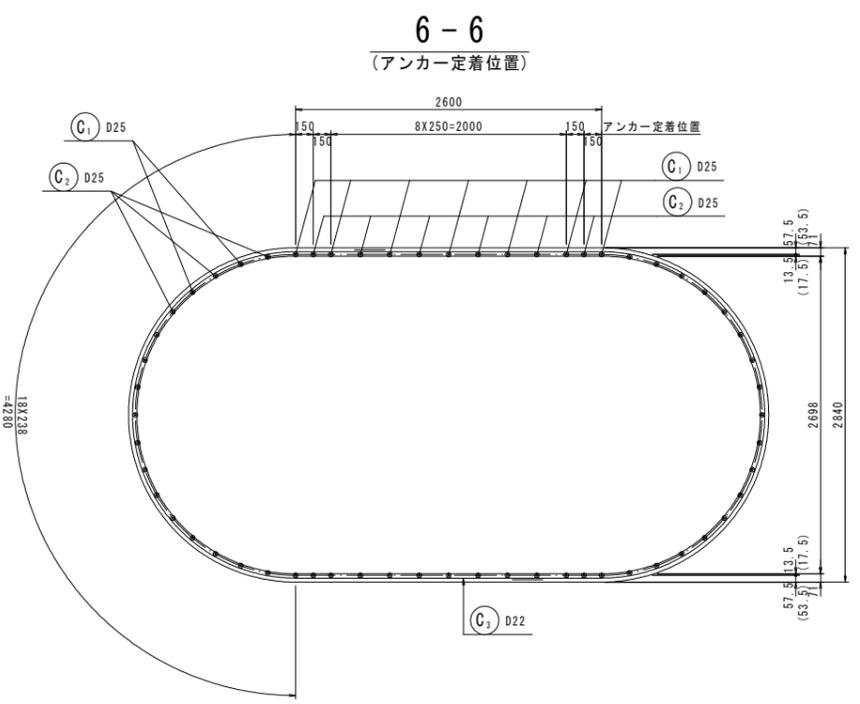
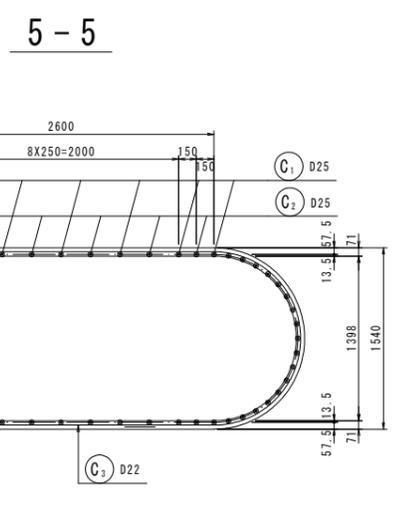
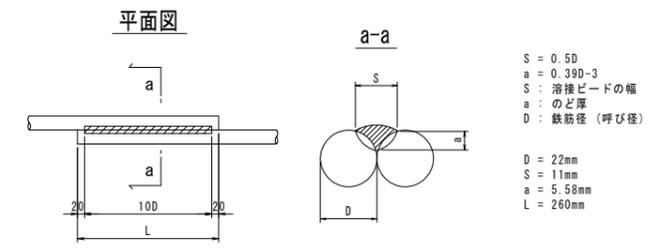
橋脚脚柱補強工配筋図 S=1:30



鉄筋質量表 (SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C ₁₋₁	D25	1000	30	3.98	3.98	119	\
C ₁₋₂	D25	2720	30	3.98	10.83	325	\ (30)
C ₂₋₁	D25	2000	30	3.98	7.96	239	\
C ₂₋₂	D25	1720	30	3.98	6.85	206	\ (30)
C ₃	D22	6210	64	3.04	18.88	1208	C (平均長) [64]
						2097	
						(圧接箇所)	[フレア溶接]
合計 D25				889 kg	(60)		
D22				1208 kg	[64]		
総質量				2097 kg	(60)	[64]	

フレア溶接詳細図



※()内は、削孔の中心位置を示す。
 ※定着アンカーと削孔の中心位置は4mmのずれを生じる。
 「橋脚脚柱補強工構造図」(軸方向鉄筋定着部詳細図)を参照のこと。

- 【注記】
- PAE系ポリマーセメントモルタルを使用すること。
 - 現地再計測の上施工を行うこと。
 - 鉄筋寸法については、現地調査の上加工すること。
 - 定着アンカー施工前にフーチング上面の鉄筋探索を行い、既設鉄筋を切断しないようにすること。
 - 定着アンカーの埋込み長は、鉄筋径の20倍とする。
 - 定着アンカー筋C1とC2は継手が一箇所に集中しないように千鳥配置とすること。
 - 帯鉄筋の継手はフレア溶接により接続し、継手位置は千鳥配置とすること。
 - NETIS登録番号：KT-980187-Vと同等工法とする。

実施設計図面

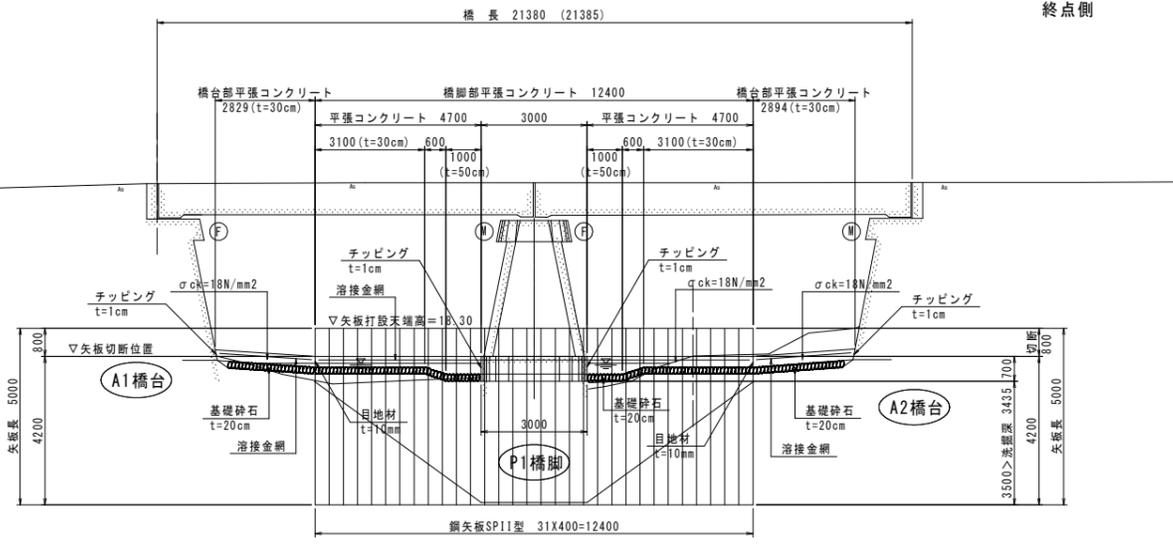
工事名	R2波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋架修繕工事
路線名等	(一)芥附海部線
工事箇所	海部海崎町広岡(上広岡橋)
図面名	橋脚脚柱補強工配筋図
縮尺	図示 図面番号 10/11
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎

洗掘対策工構造図

側面図 S=1:100

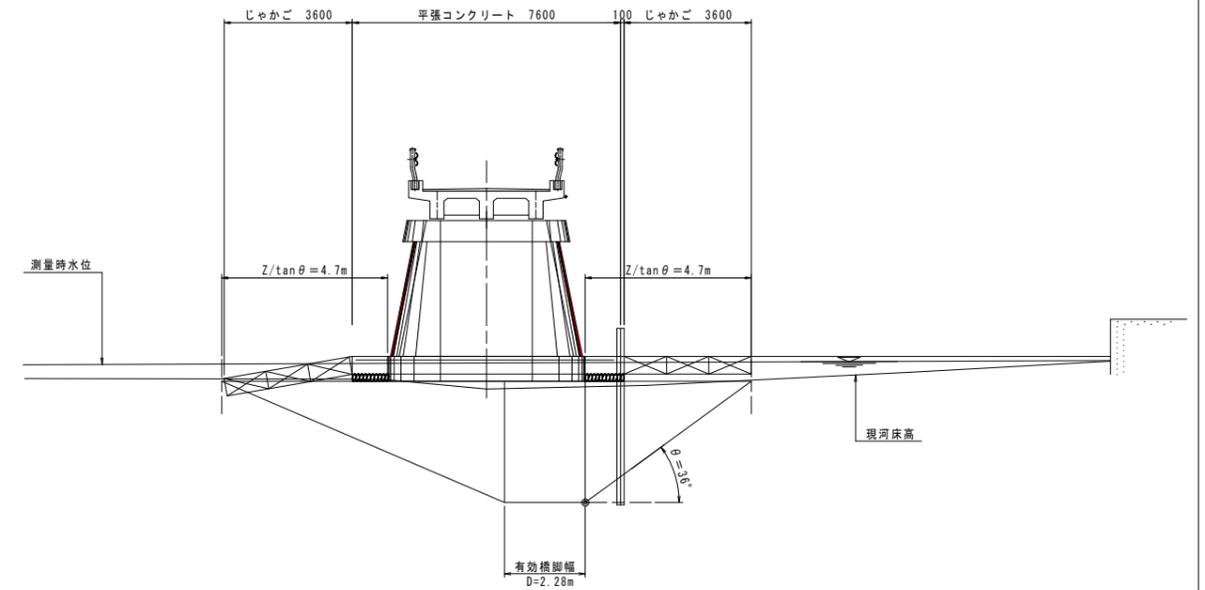
左岸側
起点側

右岸側
終点側



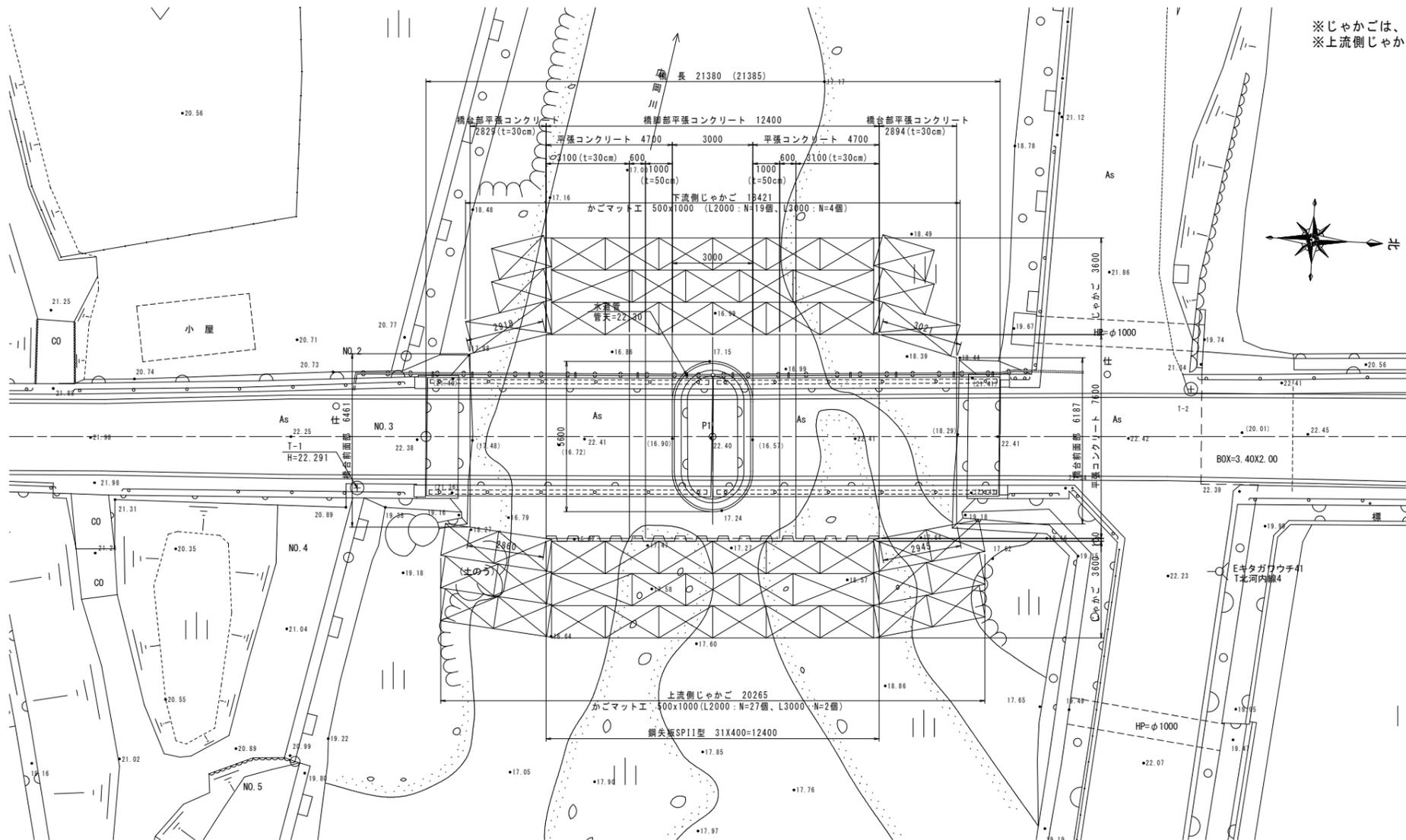
DL=12.00

断面図 S=1:100



DL=10.00

平面図 S=1:100



※じゃかごは、かごマット工を適用する。
※上流側じゃかごは、LEVELに設置できるように河川断面内の土砂を流用して河床整形を行い、なめらかに上流側へすりつけること。

実施設計図面

工事名	R2波土 芥附海部線(上広岡橋) 海・広岡橋架修繕工事		
路線名等	(一)芥附海部線		
工事箇所	海部海隣町広岡(上広岡橋)		
図面名	洗掘対策工構造図		
縮尺	図示	図面番号	11/11
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部 美波庁舎		